

ヤマサクラ

2023 年(令和 5 年)4 月 24 日(月)発行

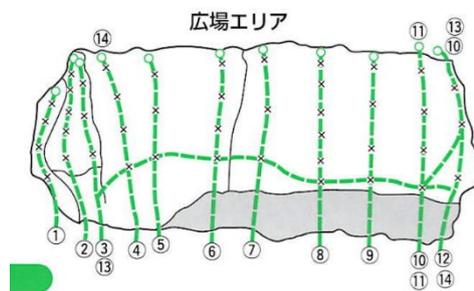
クライミング人気の「青葉」^{あおば}

理事長 木田章一



皆さんは「青葉」を知っていますか。私は最近知ったのですがロッククライミングの出来る岩場の地名とのことでした。フリークライミング日本 100 岩場①北海道・東北（山と溪谷社発行）に掲載されていて愛好者には大変人気の場所とのことでした。場所は湯ノ岳山荘から車で 5 分のところにあります。

湯ノ岳山荘の宿泊者で 2 月 22 日から 3 泊のお客がありました。出身地は北海道、一人は仙台空港からレンタカーで、もう一人は羽田空港から電車できたとのこと。どちらも大きなリュックを担いでいたので 3 泊もしてどちらに行くのか聞くと 3 日間とも青葉でクライミングをするとのこと。せつかく北海道から来たのだから 3 日間のうち 1 日でも観光で水族館に行ってはどうかと聞くと、住んでいるところは今、積雪が 30 cm あり冬場はクライミングができないため冬にクライミングができる青葉は最高とのこと。いわき以外の暖かい場所になぜ行かないのか聞くと、いつも空いているからとの返事があった。青葉はよく晴れた日は冬でも T シャツで登れる場所として全国でも有名らしい。



翌日、青葉に行ってみると大勢の人がクライミングを楽しんでいた。岩場は水平距離で約 100m、高さは高いところで約十数 m、最大で 30 名ぐらいはトライできるのではないかと。

難易度は初心者から中級者向けらしく、至る所で指導者の指導を受けてチャレンジしていた。登坂ルートは 60 ほどがあり一日では到底全てのルートを踏破できない。そのため何度も来てチャレンジすることになるのだろう。

2 月から 3 月の土曜日の予約はほとんどが青葉でした。湯ノ岳山荘を利用する目的は青葉に近く宿泊料金が安いことを皆さん言っていました。当湯ノ岳山荘が青葉を通して愛好者の交流の場となり、しいてはいわきを好きになり何度も足を運んでくれることを願い、次は市内の観光施設も訪れて欲しいものです。

私も、いわきに長年住んでいても知らなかった青葉ですが、愛好者には人気の場所であることが改めてわかりました。この湯ノ岳山荘が様々な利用者にとって満足のいく施設となるよう努めていきたいと思えます。

【森林整備班の活動報告】

1 定例活動

今期は、3/19のろうきん森の学校及び林研グループのきのこの植菌体験で使用するホダ木の伐採や池の脇の桜の枝が枯れて落ちそうなことから伐採を行いました。

(R5.1.4～3.31)

月/日	曜日	天候	作業事項	参加者 (名)
1/6	金	晴	刈払機研修支援	4
11	水	晴	栗園伐採枝を運搬(薪用)	7
18	水	晴	チェーンソー整備	5
19	木	晴	バンガロー東側ナラ枯木伐採(プロ)立会	3
21	土	晴	池脇の枯れたサクラの枝伐採作業	6
25	水	雪/曇	水道管漏水箇所調査	4
2/1	水	晴	サクラの下テーブル修理	5
4	土	晴	池法面草刈り、枯桜除伐	9
8	水	晴	池脇法面下刈り	6
15	水	晴	栗園跡地ホダ木取り	6
18	土	晴	自然学校「ドングリを植えよう」支援	7
22	水	晴	栗園跡地ホダ木運搬、枝打ち	7
3/1	水	晴	令和5年度森林整備計画調査	3
4	土	晴	ハウス東側コナラ伐採	6
8	水	晴	〃	7
15	水	晴	森林整備講習会(今井講師)バンガロー東整備及び栗園跡地クヌギ枝打ち指導	5
22	水	晴	池の脇にコナラの切株設置(玉虫の巢用)	5
28	水	晴	道具の手入れ	8
計				107

2 定例整備以外の活動

刈払機研修会支援や自然学校「豊かな森づくり体験」の支援を行いました。

(木田 記)



枯れた枝の伐採



切った枝のツール

【農業班の活動報告】

先の忌ましい大震災から 12 年が過ぎ、当たり前が当たり前でないことがあると経験しましたが、土を耕し、種を蒔き、芽が出る、当たり前の事を有難く思っています。

農業班といっても素人の集まりですが、故太田氏が残した記録とノウハウを基に作業をしております。この冬を越した野菜をあげますと、「ネギ、のらぼう菜、空マメ、玉ネギ、ラッキョウ」です。ビニールハウス内には、さつまいもと里芋の芽だしのための苗床に伏せてあり少し芽が出ています。

4 月からは夏野菜の種まきと草刈りが待っています。

【1 月から 3 月までの作業報告】

月日	曜日	天気	作業内容	参加者
1/9	月	晴	山荘近くの賛同より落ち葉を集める（軽トラ 2 台）	7
1/14	土	晴	堆肥棚に落ち葉、豚糞、米ぬか、水を入れ堆肥づくり、女性の小型耕運機練習	7
1/16	月	雨	ビニールハウスの修理、ハウス内の草取り	5
1/23	月	雪/曇	山草の落葉プールから落葉を苗床に運ぶ。	7
1/28	土	雪	作業中止	
1/30	月	晴	玉ネギ追肥、草引き、ネギの収穫と白菜のはちまき	8
2/6	月	晴	ハウス内の苗床作り、トタン棚の撤去	7
2/11	土	晴	ヘレナゴルフクラブより馬ふん堆肥を運ぶ（軽トラ 2 台）	7
2/13	月	雨	ハウス内の整理、ハウスのドアの修理	3
2/20	月	晴	馬ふん堆肥をジャガイモ畑に散布し耕運機をかける。苗床にさつまいもを伏せる。	7
2/25	土	晴	ハウス内のネギ苗（下仁田、一本ネギ）を定植	9
2/27	月	晴	空まめ畑の草引き、追肥、ネギに藁を敷く、切った梅の枝の整理	6
3/6	月	雨/曇	ハウス内に小松菜、ほうれん草の種を蒔く、玉ネギ苗の補植	7
3/11	土	晴	ジャガイモ（デストロイヤー、北あかり、メークイーン、北海まさり）を蒔く	9
3/13	月	曇	分けつネギの定植	8
3/20	月	晴	ニンジン種蒔き（マルチ点まき）、空まめの間引き、草取	7
3/25	土	曇	農器具記録、草取り、ハウス内畝作り	2



【木工班の活動報告】

今期は、銘木を使って末代まで残せるような立派な家具を作ろう！と材料集めから始めました。知り合いの工務店で、ストックしてある無垢板から、ケヤキ、ブナ、サクラを譲って頂きました。その材料でテーブル、椅子、物入れ等、各自好きなものを作ることにして、現在進行中です。たっぷり時間をかけて、売りに出せるような立派な出来を目標に、皆さん頑張っています。

3月21日には、埼玉大学の浅田先生が来られて、研修を受けました。今回は壁掛けの飾り棚と小物入れラックの製作です。

作り方の手順、材料の性質や見極め、道具の使い方等々講習を受け、とても参考になり、今後の活動に活かしたいと思います。

(野木 記)



<木工女性班>

1月は工作材料用シダローズの鱗片外れ防止用として、軸穴部にボンドを注入した。(約100カ所) 2, 3月は、山荘入口手前のオブジェ(トトロ)の表面装飾の松ボックリの劣化が激しく、各所で外れているので、取り替え用の松ボックリに、固定用のビニタイをグルーガンで取り付けを行っている。必要数、約1,200個に対して800個完了。全数完了後に取り替え予定です。



(佐藤(勝) 記)

【観察班の活動報告】

1 令和5年1月8日（日）2023年活動計画 参加者12名。

年間活動計画を確認しました。スキルアップ観察会は、会員は誰でも参加できます。ゆっくり、のんびり、いわき各所の自然を愛でる観察会です。どうぞご参加をお待ちしております。

2 令和5年2月5日（日）湯ノ岳山荘周辺自然観察会 参加者14名。

湯ノ岳山荘裏に新たな観察路を開拓しました。いつもとはちょっと違う道を歩くだけで、新たな発見が続々と。湯ノ岳の魅力再発見の観察会となりました。



3 令和5年3月5日（日） 田人明神山自然観察会 参加者11名。

参加者は11名で、多祁神社登山口からスタート。登山道沿いの樹木、落ち葉から顔出した若葉を観察しました。

クロモジとアブラチャンの新芽の違い、イチヤクソウ、セントウソウ、ケマンの若葉等を観察。陽当たりの良い場所でアセビ、ウグイスカズラが咲き始めていました。



【プログラム班の活動報告】

1 学校・幼稚園等の支援活動

今期は1月に1回、2月に2回それに3月に2回併せて5回の支援を行いました。

その活動の内訳は、別表のとおりです。

その支援の活動のようすの一部は、次の写真のとおりです。

2 その他の支援活動

特になし

3 研修等

1/19 「ときわ台自然環境保全林」の散策 参加者 12名

3/9 「四季の森」の散策 参加者 10名

学校等における学習支援活動(1/1～3/31)

No.	月 日	学校等名	学年	学習	参加者数	支援者数
1	1月26日(木)	平六小	3	総合学習	46	11
2	2月20日(月)	藤原小	3	総合学習	23	5
3	2月27日(月)	錦東小	3	総合学習	21	7
4	3月2日(木)	平六小	3	総合学習	44	10
5	3月8日(水)	中央台北小	4	総合学習	31	8
計					165	41



研修会報告 2

3月30日(木)「いわきに息づく生きものたち」～いわきの自然生物の現況を探る～とのタイトルでいわき地域学会、いわき地域環境科学会、日本野鳥の会会員更にいわき市文化財保護審議会委員やいわき市美術館評議員としても活躍なされている鳥海陽太郎さんにお話をさせていただきました。

午前中はこれまで長年にわたり撮りためた写真を、スライドで見せていただきました。

内容は市内の公園や水辺で見られる生きものの紹介でしたが、生きものの名前が次々に飛び出してくるわけではなく、名前を覚えることでいっぱいになることもなく、その話術と相まって参加者は楽しく聞き入っていました。午後からは、晴れ間が出たところで山荘周辺を歩き、暖かくなって飛び出したいろいろな虫を探し、解説していただきました。

参加者は14名でした。

(佐藤 烈 記)

プログラム研修会（植物・水性生物）

午前：古川眞智子先生

「ピラミッド探検隊」と題し、2 グループに分かれ、実際に見たもの聞いたものの絵を描き（文字はN G）ピラミッド図を作成した。

{上：捕食者、中：ヘビ・虫、下：地面に落ちているもの、食べられてしまうもの}

午後：吉田真弓先生

「川の生き物を調べよう」と題し説明後、川上渓谷で採取した生物を分類したところ、実物大のヘビ・トンボの他、約 17 種類の生物を確認することができた。

{外来種でもあるナミウズムシも確認しとてもビックリした。}

午前・午後の活動に生かせる題材で、とても有意義な時間となりました。

(円谷美奈子記)



【ろうきん森の学校・自然体験活動の活動報告】

1 令和5年1月15日（日） 参加者35名

- (1) 自然観察会 「冬芽とロゼットを探そう」 (2) 自然体験 「餅つき」
(3) 木工クラフト「団子さし」 (4) 季節の料理 「あんこ、きなこ」「漬物」

自然観察会では、芝生広場で「ロゼットビンゴ」を親子で楽しみました。ロゼットもいろいろな形や大きさがあること、寒い冬を乗り切る戦略であることを学びました。

自然体験は、1月恒例のお餅つき。子どもたちが順番にお餅をつきました。つきたてのお餅を食べると「美味しい！」の声。お昼は、あんこやきなこをつけたお餅がふるまわれました。

木工クラフトは正月の縁起物「団子さし」。紅白の団子にうまい棒をつけました。



2 令和5年2月19日（日） 参加者37名

- (1) 自然観察会 「冬枯れの森で遊ぼう」 (2) 自然体験 「森の手入れ体験」
(3) 木工クラフト「竹ぽっくり」 (4) 季節の料理 「炊き込みご飯」「豚汁」

自然観察会では、「自然の達人ビンゴ」で五感を使って自然を楽しみました。
 自然体験は、子どもたちがヘルメットを被り、のこぎりを使って、森の手入りを体験しました。
 木工クラフトは、竹ぼっくり作りに挑戦しました。



3 令和5年3月19日（日） 参加者 37名

- (1) 自然観察会 「春の野草を探そう」 (2) 自然体験 「キノコ植菌体験」
 (3) 木工クラフト「木の枝えんぴつ」 (4) 季節の料理 「春野菜カレー」「サラダ」

自然観察会は、早春の草花を探しながらの散策。シュンランやキブシなどこの季節ならではの草花と出会えることができました。

自然体験は、シイタケの菌コマをナラの原木に打ち込む体験をしました。

木工クラフトは、枝を削って、木の枝のえんぴつを作りました。



【子どもの冒険ひろば・活動報告】

1, 令和5年1月14日（土） 参加者11名

とても真冬とは思えない暖かい一日。落ち葉のプールで遊んだり、モグラ塚の山を掘ってみたり、仲良し姉妹は、鬼滅の刃ごっこで戦ったりと、子どもたちは、汗を流しながら楽しく過ごしていました。



2, 令和5年1月28日（土） 参加者12名

昨夜の雪が残り、子どもたちはソリ遊びに夢中でした。雪合戦や雪だるまを作るなど、いわきではなかなか味わえない雪遊びを楽しんでいきました。



3, 令和5年2月11日(土) 参加者26名

福島ネイチャーゲーム協会とのコラボが実現しました。自然の中で五感を使ったゲームを楽しんだり、カムフラージュを楽しみました。暖かい日差しの中、芝生広場に歓声が響いていました。



4, 令和5年2月25日(土) 参加者42名

福島ネイチャーゲーム協会とのコラボ2回目。自然の中の色探しやいろいろな自然の形を見つけました。子どもたちは、芝生広場を思いっきり走り回っていました。最後みんなで記念写真。たくさんの笑顔の花が咲きました。



【湯の岳自然学校 in いわきの活動報告】

1, 令和5年2月18日(土) 豊かな森づくり体験：整備班担当(参加者3名)

クヌギを植え、育て、育ったものを生活の中で活用していくという「里山の生業」を体験していただきました。参加した親子は「炭焼き体験」にも参加されていたので、自然と人のほど良い関係性を実感していただきました。



2, 令和5年2月26日(日) バランストンボ作り:事務局担当(参加者4名)

会員の佐藤行年さんを講師に迎え、バランストンボを作りました。行年さんが参加者のパーツを用意してくださり、参加者は真剣にバランスを考えながら竹を薄く削っていきます。なかなかバランスをとるのが難しく苦戦しましたが、最後に行年さんが微調整をして完成することができました。



【林研グループの活動報告】

1, 木工工作 令和5年2月12日(日) 参加者14名 スタッフ4名

大人は子ども用ベンチを製作し、子どもは木の枝貼り付けを行いました。



2, 湯ノ岳早春の自然観察会 令和5年3月19日(日) 参加者9名 スタッフ3名

春の訪れを楽しみながら山荘周辺を散策しました。



3, キノコ植菌体験 令和5年3月19日(日) 参加者18名 スタッフ3名

栗園跡地で生長したクヌギのホダ木に椎茸の種コマ菌を打ち込んでもらいました。参加者は、会員の松本學さんから、椎茸の育て方を教わり、大事そうに家に持ち帰りました。



【今井講師による森林整備研修】

3月15日に今井講師による、令和5年度の森林整備計画について現地で指導を受け、来年度のクヌギ林整備の参考になりました。また、栗園跡地のクヌギの枝打ちについて高枝バサミを使っての選定方法の指導を受けました。



(木田 記)

【ミツバチ元気に活動】

巣箱を設置して数年ミツバチは入らず、木工班の馬目氏から分峰した蜂の巣を分けてもらい、やっと蜜を採取することができました。冬の間休眠状態だったミツバチは暖かくなって元気に活動しています。

(木田 記)



(発 行)NPO 法人 いわきの森に親しむ会

(発行責任者)木田 章一

(事 務 局)〒972-8326 いわき市常磐藤原町湯ノ岳 2
湯ノ岳山荘内

TEL/FAX 0246-44-3273

E-mail:yunodake@gray.plala.or.jp

HP:<https://iwaki-mori.jimdo.com/>